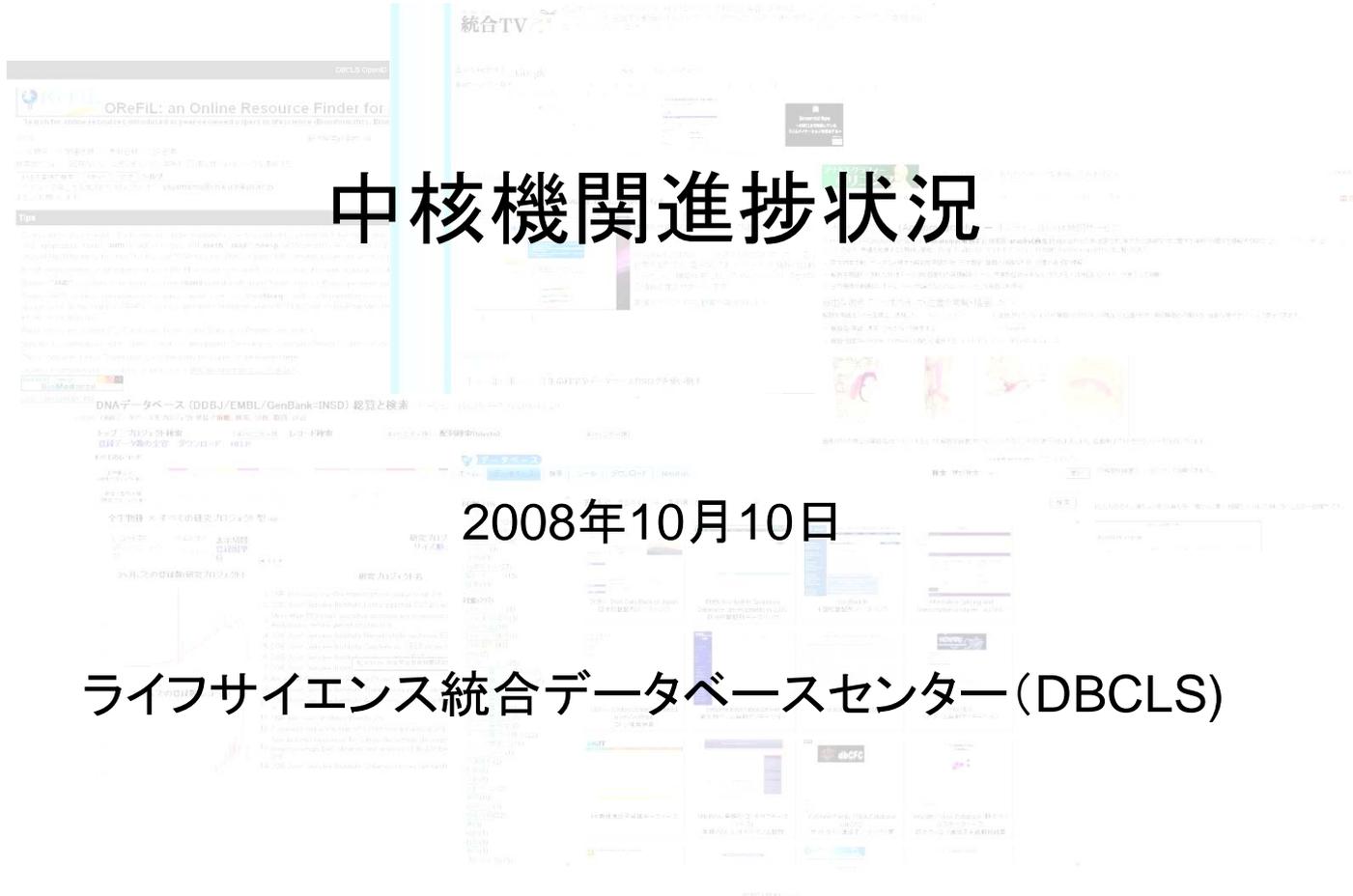


# 統合データベースプロジェクト 研究運営委員会作業部会資料



## 中核機関進捗状況

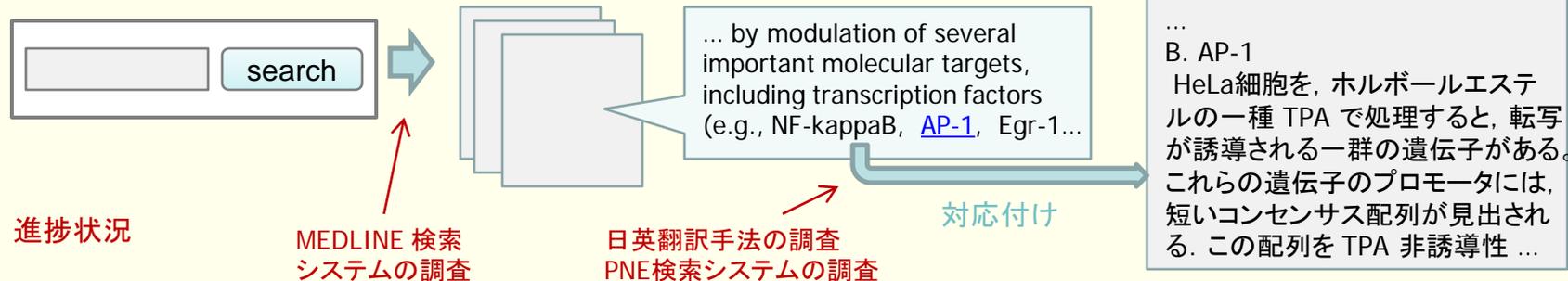
2008年10月10日

ライフサイエンス統合データベースセンター(DBCLS)

# 共通基盤技術開発

英文テキスト中の領域固有語を同定し、日本語に翻訳して、日本語文献を検索するシステムを開発

システム概念図



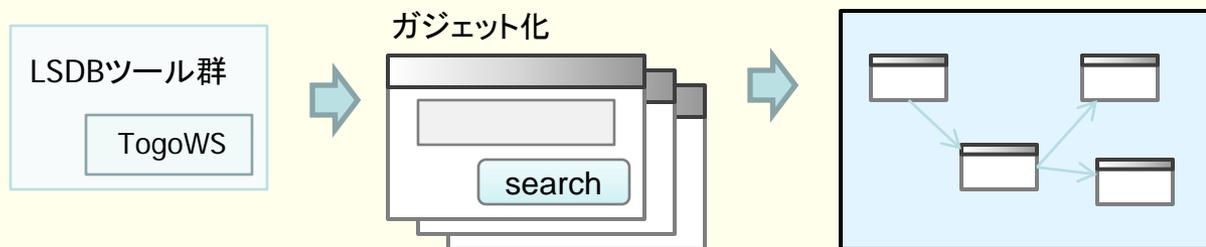
遺伝子名、蛋白質名で full paper を対応付ける技術を開発し、特定生物を対象としたプロトシステムを完成

システム概念図



TogoWSの操作性向上のためのツール組合せインターフェイス設計のための調査を行い、報告資料を作成

システム概念図



進捗状況

Yahoo pipes!, UCSC Galaxy など, 既存のツール組み合わせインターフェイスの調査



# ポータル整備運用：H19版リリース後の目標と進行状況

6月2日にDBCLSで開発した23のサービスを公開

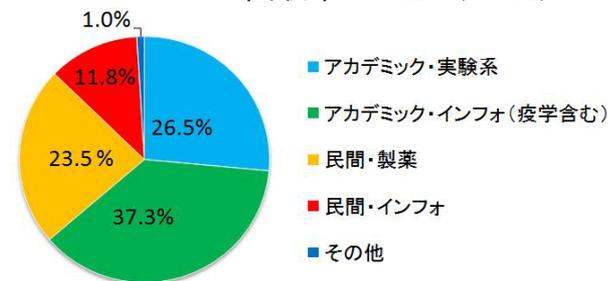
サービス/目標	進行状況
横断検索/ DB追加(目標200)と検索の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学系DB横断検索については順調にDBを追加しており、KEGG DRUG, PIRなど重要なDBの他、微生物DBの検索を8月以降オープンした。</li> <li>・特許公報のみであった特許検索に公開・公表特許公報を追加し公開する(バイオJapanにあわせて)</li> <li>・タンパク関連DBの横断検索実現のために、索引を作成中。</li> <li>・検索精度の向上について、現状各レコードへのランク付けは難しいので、利用者が望みのDBについて検索結果を取捨選択できるようにする。</li> <li>・ユーザインタフェースの改良→絞込みがわかりづらい、何由来のDBかわかりにくいなど</li> <li>・索引のアップデートなど管理インタフェースを作製して今後の維持管理を容易にする。</li> </ul>
生命科学系DBカタログ/ DB追加(目標150)と充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学系DBカタログのDB追加は、NARのDB issue からデータを作製中である。</li> <li>・既存レコードの記載内容に関する追加、修正は今のところできていない。</li> </ul>
生命科学学会・協会検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年会情報(日時、ウェブサイトなど)の情報を調査して追加</li> <li>・各学会の発行する学会誌のオープンアクセス状況を調査し利用者に提示、アクセスを容易にするための機能を追加する。</li> </ul>
日本語文献 検索/ 文献の追加、他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物物理学会に年会要旨と論文誌の利用の許諾をいただいたので12月の生物物理学会をめどに追加する。</li> <li>・それ以外は今後、努力が必要であり、上記学会・協会検索と連動してオープンアクセス誌の利用を考えたい。</li> <li>・クリエイティブコモンズやサイエンスコモンズなどの活動の普及と連携していく</li> </ul>
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は各コンテンツ内のデータの追加、充実化を図ることが重要</li> <li>・デザイン、使用感の向上、統一感が必要</li> <li>・当初、枠組みのインタフェースをgadgetの作製やAPIとの連携が容易なようにデザインしたが、サービス毎の開発状況からまだ有効に利用できる段階では無い</li> <li>・メニューがわかりにくいとの指摘も多く改良必要</li> <li>・検索やツールのサービスが多いのでSEOを対策する</li> </ul>

# 19年度成果に対するユーザー評価まとめ

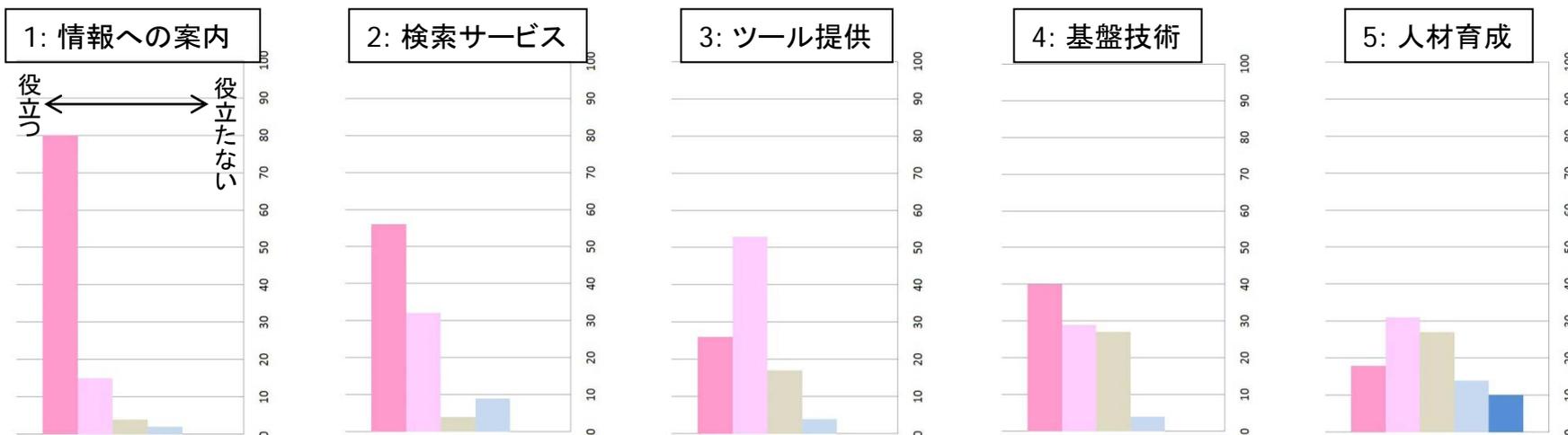
## ●実施概要

- ・H19年度成果に対するウェブサイト記入方式のユーザ評価を7/22～8/5に実施
- ・評価記入サイトには、5つの項目(代表的な17のサービスを分類)について選択肢とコメント欄を用意
- ・同サイトには、サービスの紹介と内容の理解のために、テストクエリや画面サンプル等を用意

- 回収率および評価者の背景 回答者数: 92名(2名辞退)  
回収率: 62% (57/92)



## ●目的ごとに分類したサービス内容についての全般的な評価(5段階)



## ●フリーコメントの記述内容

- ・各分類全般についてあるいは個別のサービスに対して(191件、一部重複あり)
- ・サービス全般に対するフリーコメントや今後当プロジェクトで提供すべきサービスについて (28件)

# 統合データベース講習会AJACS

<http://motdb.DBCLS.jp/>

1. データベースを使いこなすための技術的な基礎知識から効率的な利用法について広く知ってもらう
  - 特に統合データベースプロジェクトによって作成・維持管理されているサービスを使いこなすための効率的な利用法について広く知ってもらうことを目的
2. データベースを作成、維持管理していく仕事に関しても興味を持ってもらう
3. 参加者全員がコンピュータを使いながらの講習
  - 講習会ウェブサイト(MotDB: <http://motdb.dbcls.jp/>)の活用→復習が容易
  - これまでに102コンテンツ作成してきた統合TVも活用しながらのユニークな講習形態



## 2008年度開催の統合データベース講習会(3回)

日時、呼称	場所	参加者
2008/05/30 AJACS湘南	日本大学 生物資源科学部	64人
2008/07/03 AJACS本郷1	東京大学工学部 12号館(DBCLS)	20人
2008/08/29 AJACS蝦夷	北海道大学 情報科学研究科	30人



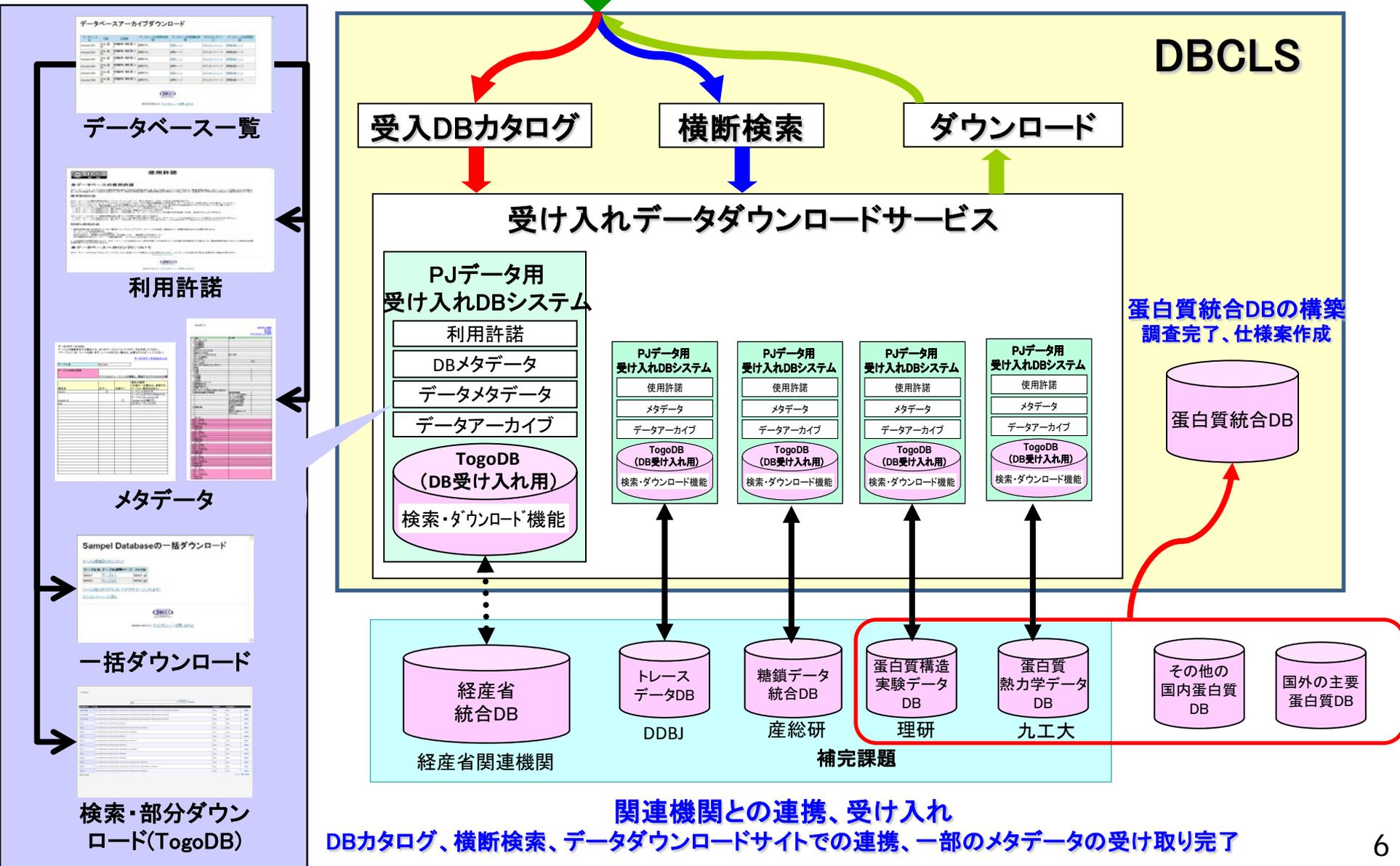
AJACS 蝦夷の様子



あと4回開催予定(九大、長浜バイオ大、東工大、DBCLS)

# データベースの受入と運用 進行状況

受け入れデータダウンロードサービス  
基盤構築  
第1バージョン完成

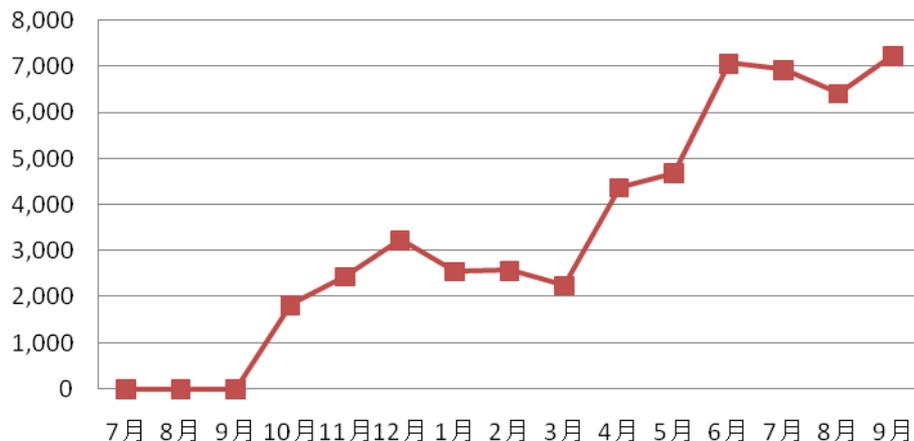


# ポータルサービスのアクセス統計

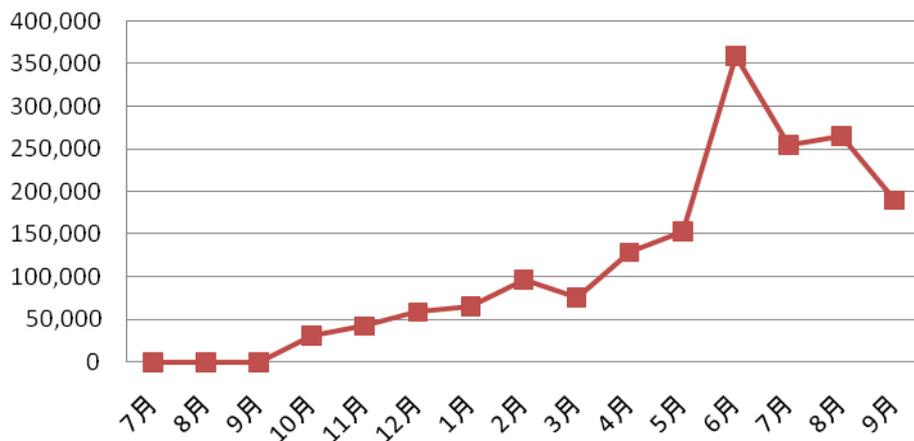
## 解析概要

- 公開から本年9月の間のアクセス統計のうち訪問者数とアクセスされたページ数を示した。
- ログの解析にはAWstatsを利用した。

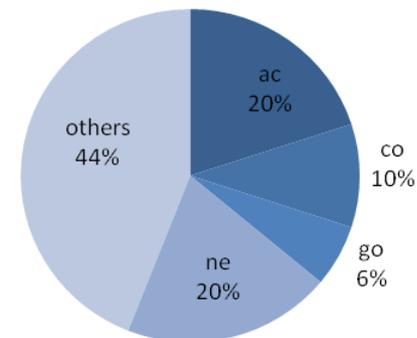
## ユニーク訪問者数



## ページ数



## ページビューのドメイン内訳



- othersにはDNS逆引き不可のものを含む

## 今後の予定

参加機関にアクセスログ収集を依頼

(目的) 本プロジェクトの有用性の評価

(方法)

1. Apache NCSA combined log formatで収集
2. 生データあるいは解析データをDBCLSへ送付  
(個人情報保護の関する問題点検討後、決定)